

Haydn & Schubert

Kei Itoh Piano Recital

オーストリアは風光明媚で美しい国といわれていますが、明るくて美しいだけではない、儚さ、哀しさを感じます。それはまさにハイドンやシューベルトの音楽に存在するものです。ハイドンこそ諧謔であり、シューベルトが憂愁のイメージを逆にとり、二人の作曲家に共通する世界を内側から見てみたいです。

新・春をはこぶコンサート
8年連続コンサート Vol.IV

伊藤 恵

ピアノ・リサイタル



©武藤 章

2011年4月29日(金・祝) 14:00 開演 紀尾井ホール

Friday, April. 29th 2011, 2 P.M. Kioi Hall

ハイドン: アンダンテと変奏曲 ヘ短調
Haydn: Andante con variazioni Hob. XVII:6

シューベルト: 即興曲集 D935 作品142
Schubert: Impromtus D.935 op.142

ハイドン: ピアノ・ソナタ第34番 ホ短調
Haydn: Sonata fur Klavier No.34 Hob. XVI:34

シューベルト: ピアノ・ソナタ第17番 ニ長調 op.53 D.850
Schubert: Sonata fur Klavier Op.53 D.850

入場料: ¥4,000(全席指定)

主催: KAJIMOTO 協力: (株)フォンテック

幼少より有賀和子氏に師事。桐朋学園高校を卒業後、ザルツブルグ・モーツァルテウム音楽大学、ハノーファー国立音楽大学卒業。名教師ハンス・ライグラフ氏に師事。1979年エピナール国際コンクール第1位、1980年J.S.バッハ国際音楽コンクール第2位、クルト・ライマーコンクール第1位、1981年ロン＝ティボー国際音楽コンクール第3位及び特別賞と数々のコンクールに入賞。1983年第32回ミュンヘン国際音楽コンクールピアノ部門で日本人として初の優勝。内外の主要なオーケストラと協演を重ねている。1987年からシューマンの作品を取めたアルバム、「シューマンニアーナ」の録音にかかり、2007年シューマンニアーナXIIIをもって全曲録音を完成する。2008年からシューベルトを中心にしたリサイタル「新・春をはこぶコンサート」を開催。同時にフォンテックより「シューベルト・ピアノ曲集」をリリース。1993年日本ショパン協会賞、1994年横浜市文化賞奨励賞受賞。2003年より東京藝術大学准教授。

カジモト・イープラス 0570-06-9960

※音声自動応答で承りますが、オペレーター(10:00~18:00)もご選択いただけます。ホームページからお申込みいただけます(パソコンもケータイも同じアドレス)。

<http://kajimotoeplus.com/>

0570で始まるナビダイヤル番号は、PHS、IP電話など一部の回線からは接続されない場合がございます。NTT加入電話、公衆電話などをご利用願います。

●やむを得ぬ事情により内容に変更が生じる場合がございますが、曲目変更などのために払い戻しはいたしませんのであらかじめご了承願います。
●未就学児のご入場はご遠慮いただいております。

電子チケットぴあ 0570-02-9999(Pコード:127-573)
e+(イープラス) <http://eplus.co.jp/>
紀尾井ホールチケットセンター 03-3237-0061

便利なケータイサイトもぜひご利用ください。
iモード・EZweb・Yahoo!ケータイ 対応
チケットもご購入いただけます。

カジモト・イープラス

